

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年5月13日
【四半期会計期間】	第92期第2四半期（自平成22年1月1日至平成22年3月31日）
【会社名】	伊藤忠食品株式会社
【英訳名】	I TO CHU - SHOKU H I N Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 濱口 泰三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区城見二丁目2番22号
【電話番号】	(06)6947-9811
【事務連絡者氏名】	執行役員経本部長 小池 俊一
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区城見二丁目2番22号
【電話番号】	(06)6947-9811
【事務連絡者氏名】	執行役員経本部長 小池 俊一
【縦覧に供する場所】	伊藤忠食品株式会社 東京本社 （東京都中央区日本橋室町三丁目3番9号） 伊藤忠食品株式会社 東海営業本部 （名古屋市熱田区川並町3番14号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第2四半期連結 累計期間	第92期 第2四半期連結 累計期間	第91期 第2四半期連結 会計期間	第92期 第2四半期連結 会計期間	第91期
会計期間	自平成20年 10月1日 至平成21年 3月31日	自平成21年 10月1日 至平成22年 3月31日	自平成21年 1月1日 至平成21年 3月31日	自平成22年 1月1日 至平成22年 3月31日	自平成20年 10月1日 至平成21年 9月30日
売上高(百万円)	300,549	290,119	130,171	124,455	622,181
経常利益 または経常損失() (百万円)	2,391	3,111	117	319	5,103
四半期(当期)純利益 または純損失() (百万円)	1,373	1,642	448	436	3,584
純資産額(百万円)	-	-	51,685	55,474	54,216
総資産額(百万円)	-	-	160,321	161,909	174,596
1株当たり純資産額(円)	-	-	4,026.71	4,321.74	4,223.76
1株当たり四半期(当期)純利益 金額または純損失金額() (円)	107.05	127.98	34.99	33.99	279.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	107.01	127.98	-	-	279.26
自己資本比率(%)	-	-	32.2	34.3	31.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	6,662	1,245	-	-	4,734
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,389	14	-	-	3,729
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	425	451	-	-	852
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	10,761	17,679	19,390
従業員数(人) (外、平均臨時雇用者数)	-	-	1,125 (441)	1,035 (467)	1,062 (431)

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第91期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

4 第92期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営む事業の内容に重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、持分法適用非連結子会社であった㈱カジタクは当社が所有する株式の一部を売却したことにより関係会社ではなくなりました。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年3月31日現在

従業員数（人）	1,035	(467)
---------	-------	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年3月31日現在

従業員数（人）	769	(71)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売等の状況】

(1) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を商品分類別に示すと次のとおりであります。

商品分類	金額（百万円）	前年同四半期比（％）
ビール	29,195	3.6
和洋酒	21,511	1.8
調味料・缶詰	22,682	9.4
嗜好・飲料	26,149	7.1
麺・乾物	10,269	8.6
冷凍・チルド	7,250	5.6
ギフト	2,706	1.4
その他	4,689	2.4
合計	124,455	4.4

(注) 1 発泡酒およびビール風アルコール飲料（第3のビール）の販売実績は「ビール」に含んでおります。

2 前第2四半期連結会計期間および当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績および総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結会計期間 （自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）		当第2四半期連結会計期間 （自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）	
	金額（百万円）	割合（％）	金額（百万円）	割合（％）
(株)セブン・イレブン・ジャパン	17,488	13.4	17,341	13.9

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間における仕入実績を商品分類別に示すと次のとおりであります。

商品分類	金額（百万円）	前年同四半期比（％）
ビール	25,866	5.5
和洋酒	17,943	1.2
調味料・缶詰	20,015	8.3
嗜好・飲料	23,007	6.7
麺・乾物	8,841	9.2
冷凍・チルド	6,168	3.8
ギフト	1,480	16.9
その他	644	8.3
合計	103,967	4.7

(注) 1 発泡酒およびビール風アルコール飲料（第3のビール）の仕入実績は「ビール」に含んでおります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業などのリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結会計期間（平成22年1月1日～平成22年3月31日）におけるわが国経済は、輸出の増加や株価上昇など回復の兆しが見えはじめ、企業収益は持ち直しつつあるものの、依然失業率が高い水準で推移するなどの雇用不安から、個人消費も低迷し国内景気は厳しい状況が続いております。

食品流通業界におきましても、個人所得の伸び悩みや雇用不安による消費者の生活防衛意識の高まりから低価格志向が強まっており、これらを背景に業態を越えた企業間の価格競争は一層激しさを増し、当社を取り巻く経営環境も厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、主要取引先であるスーパー等の組織小売業との取引関係強化を進めたものの、卸売業との取引縮小や前期にて実施した連結子会社の株式売却などにより、当第2四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比較4.4%（57億15百万円）減少の1,244億55百万円となりました。

営業利益は、利益率の改善や物流コストを中心とした販売費及び一般管理費の削減などにより、前年同期比較4億75百万円増加の4億63百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

経常利益は、営業利益の増加により、前年同期比較4億36百万円増加の3億19百万円（前年同期は1億17百万円の経常損失）となりました。四半期純利益は、経常利益の増加および特別利益の増加などにより、前年同期比較8億85百万円増加の4億36百万円（前年同期は4億48百万円の四半期純損失）となりました。

(2)財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,619億9百万円となり、前連結会計年度末と比べ、126億87百万円の減少となりました。主な要因は、季節変動要因により売上債権などを中心に流動資産が121億3百万円減少したことなどによるものです。

負債は、1,064億34百万円となり、前連結会計年度末と比べ、139億45百万円の減少となりました。主な要因は、資産の減少と同様、季節変動要因により、仕入債務が142億17百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、554億74百万円となり、前連結会計年度末と比べ、12億58百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が12億31百万円増加したことなどによるものです。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、176億79百万円となり、第1四半期連結会計期間末に比べ91億28百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、86億36百万円の支出（前年同期は138億95百万円の支出）となりました。主な資金減少要因は、仕入債務の減少571億69百万円などによるものであり、資金増加要因は、売上債権の減少367億18百万円、たな卸資産の減少72億3百万円および未収入金の減少60億26百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億72百万円の支出（前年同期は19億94百万円の支出）となりました。主な資金減少要因は、投資有価証券取得による支出2億64百万円、および無形固定資産取得による支出1億35百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、20百万円の支出（前年同期は17百万円の支出）となりました。

(3)事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成22年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年5月13日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	13,032,690	13,032,690	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式で あり、権利内容に何 ら限定のない当社 における標準とな る株式であり、単元 株式数は100株であ ります。
計	13,032,690	13,032,690	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成22年1月1日～ 平成22年3月31日	-	13,032	-	4,923	-	7,161

(5) 【大株主の状況】

平成22年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
伊藤忠商事株式会社	大阪市中央区久太郎町4-1-3	6,219	47.72
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (住友信託銀行再信託分・アサヒ ビール株式会社退職給付信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	690	5.29
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	421	3.23
株式会社日本アクセス	東京都世田谷区池尻3-1-3	400	3.07
味の素株式会社	東京都中央区京橋1-15-1	339	2.60
松下 善四郎	兵庫県西宮市	302	2.32
みずほ信託銀行株式会社退職給付信 託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託 銀行株式会社	東京都中央区晴海1-8-12	236	1.82
ステート ストリート バンク アン ド トラスト カンパニー 5050 19 (常任代理人 香港上海銀行東京支 店)	AIB INTERNATIONAL CENTRE P.O. BOX 518 IFSC DUBLIN, IRELAND (東京都中央区日本橋3-11-1)	169	1.30
伊藤忠食品 従業員持株会	東京都中央区日本橋室町3-3-9	163	1.26
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	162	1.25
計	-	9,104	69.86

(注) 1 上記のほか、自己株式が194千株あります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(住友信託銀行再信託分・アサヒビール株式会社退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。

3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成22年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 194,200	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 6,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,828,200	128,282	-
単元未満株式(注)	普通株式 3,790	-	-
発行済株式総数	13,032,690	-	-
総株主の議決権	-	128,282	-

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式7株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) 伊藤忠食品株式会社	大阪市中央区城見 2 - 2 - 22	194,200	-	194,200	1.49
(相互保有株式) 株式会社スハラ食品	北海道小樽市堺町 1 - 8	6,500	-	6,500	0.05
計	-	200,700	-	200,700	1.54

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 10月	平成21年 11月	平成21年 12月	平成22年 1月	平成22年 2月	平成22年 3月
最高(円)	3,200	3,080	3,160	3,150	3,070	3,025
最低(円)	3,050	2,885	2,915	3,040	2,931	2,950

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

氏名	新	旧	異動年月日
岩城 彰	取締役専務執行役員機能部門管掌 (兼)人事総務本部本部長(兼)社長 室室長	取締役専務執行役員機能部門管掌 (兼)経営企画本部本部長(兼)経営企 画部部长(兼)人事総務本部本部長 (兼)社長室室長	平成22年5月1日

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）にもとづいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）および前第2四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成21年3月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則にもとづき、当第2四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）および当第2四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成22年3月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則にもとづいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、前第2四半期連結会計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）および前第2四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成21年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第2四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）および当第2四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成22年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,179	10,690
受取手形及び売掛金	64,599	71,105
有価証券	6,500	8,700
商品及び製品	9,929	10,521
その他	16,999	20,567
貸倒引当金	219	494
流動資産合計	108,988	121,091
固定資産		
有形固定資産	26,676	27,371
無形固定資産		
のれん	6	7
その他	1,010	947
無形固定資産合計	1,016	955
投資その他の資産		
投資有価証券	15,626	15,429
その他	10,508	10,459
貸倒引当金	907	709
投資その他の資産合計	25,227	25,178
固定資産合計	52,920	53,505
資産合計	161,909	174,596
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,476	107,694
未払法人税等	1,358	862
賞与引当金	856	1,094
役員賞与引当金	33	51
その他	7,555	7,579
流動負債合計	103,280	117,282
固定負債		
退職給付引当金	290	284
役員退職慰労引当金	7	7
設備休止損失引当金	22	24
その他	2,833	2,781
固定負債合計	3,153	3,097
負債合計	106,434	120,379

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,163
利益剰余金	42,964	41,732
自己株式	590	591
株主資本合計	54,461	53,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,013	987
評価・換算差額等合計	1,013	987
新株予約権	-	1
純資産合計	55,474	54,216
負債純資産合計	161,909	174,596

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	300,549	290,119
売上原価	268,617	258,723
売上総利益	31,931	31,396
販売費及び一般管理費	29,463	28,251
営業利益	2,467	3,144
営業外収益		
受取利息	82	63
受取配当金	127	124
不動産賃貸料	196	255
その他	84	68
営業外収益合計	490	511
営業外費用		
支払利息	23	26
不動産賃貸費用	115	140
持分法による投資損失	392	372
その他	35	5
営業外費用合計	566	544
経常利益	2,391	3,111
特別利益		
投資有価証券売却益	967	59
固定資産売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	38	236
設備休止損失引当金戻入額	13	-
特別利益合計	1,019	295
特別損失		
投資有価証券評価損	299	1
固定資産除却損	28	132
貸倒引当金繰入額	2	154
会員権評価損	7	0
その他	-	29
特別損失合計	337	317
税金等調整前四半期純利益	3,074	3,089
法人税、住民税及び事業税	1,617	1,331
法人税等調整額	83	116
法人税等合計	1,700	1,447
四半期純利益	1,373	1,642

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	130,171	124,455
売上原価	116,450	111,168
売上総利益	13,720	13,287
販売費及び一般管理費	13,733	12,824
営業利益又は営業損失()	12	463
営業外収益		
受取利息	35	29
受取配当金	19	18
不動産賃貸料	97	126
その他	55	45
営業外収益合計	208	219
営業外費用		
支払利息	14	13
不動産賃貸費用	54	67
持分法による投資損失	218	280
その他	25	1
営業外費用合計	313	363
経常利益又は経常損失()	117	319
特別利益		
投資有価証券売却益	-	59
貸倒引当金戻入額	92	285
投資有価証券評価損戻入益	-	445
設備休止損失引当金戻入額	13	-
特別利益合計	105	790
特別損失		
投資有価証券評価損	299	1
固定資産除却損	25	6
貸倒引当金繰入額	2	150
会員権評価損	7	-
その他	-	0
特別損失合計	333	158
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	345	951
法人税、住民税及び事業税	253	617
法人税等調整額	149	101
法人税等合計	103	515
四半期純利益又は四半期純損失()	448	436

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,074	3,089
減価償却費	820	927
持分法による投資損益(は益)	392	372
投資有価証券売却損益(は益)	967	58
貸倒引当金の増減額(は減少)	82	76
賞与引当金の増減額(は減少)	191	237
退職給付引当金の増減額(は減少)	10	26
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1	0
受取利息及び受取配当金	209	187
支払利息	23	26
固定資産除売却損益(は益)	27	132
会員権評価損	7	0
投資有価証券評価損益(は益)	299	1
売上債権の増減額(は増加)	1,758	6,506
たな卸資産の増減額(は増加)	507	592
未収入金の増減額(は増加)	2,584	2,929
差入保証金の増減額(は増加)	49	161
仕入債務の増減額(は減少)	13,629	14,217
未払金の増減額(は減少)	331	353
その他	420	147
小計	5,633	539
利息及び配当金の受取額	235	202
利息の支払額	22	25
法人税等の支払額	1,242	882
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,662	1,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,531	74
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	203	258
投資有価証券の取得による支出	155	306
投資有価証券の売却による収入	2,000	110
貸付けによる支出	4,407	4,803
貸付金の回収による収入	4,004	5,252
その他	98	65
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,389	14
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	40	40
配当金の支払額	384	410
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	425	451
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	8,477	1,710
現金及び現金同等物の期首残高	19,238	19,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,761	17,679

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
1. 持分法の適用に関する事項の変更	(1)持分法適用非連結子会社の変更 当第2四半期連結会計期間より、持分法適用非連結子会社であった(株)カジタクの株式を一部売却したことにより関係会社ではなくなったため、持分法の適用範囲から除外しております。 (2)変更後の持分法適用非連結子会社の数 4社

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末 (平成21年9月30日)														
1 有形固定資産の減価償却累計額は、10,121百万円であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、9,792百万円であります。														
2 偶発債務 下記の会社の仕入債務について保証を行っております。	2 偶発債務 下記の会社の仕入債務について保証を行っております。														
<table border="0"> <tr> <td>㈱宝来商店</td> <td>167百万円</td> </tr> <tr> <td>㈱カジタク</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>251百万円</td> </tr> </table>	㈱宝来商店	167百万円	㈱カジタク	83	計	251百万円	<p>す。</p> <p>なお、九州伊藤忠食品㈱は、平成21年10月1日付で商号を㈱中九食品に変更しております。</p> <table border="0"> <tr> <td>㈱宝来商店</td> <td>198百万円</td> </tr> <tr> <td>九州伊藤忠食品㈱</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>㈱カジタク</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>393百万円</td> </tr> </table>	㈱宝来商店	198百万円	九州伊藤忠食品㈱	100	㈱カジタク	95	計	393百万円
㈱宝来商店	167百万円														
㈱カジタク	83														
計	251百万円														
㈱宝来商店	198百万円														
九州伊藤忠食品㈱	100														
㈱カジタク	95														
計	393百万円														

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)																								
販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。																								
<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>17,846百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>1</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	17,846百万円	貸倒引当金繰入額	11	賞与引当金繰入額	900	役員賞与引当金繰入額	32	退職給付費用	229	役員退職慰労引当金繰入額	1	<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>17,371百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>856</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>0</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	17,371百万円	貸倒引当金繰入額	11	賞与引当金繰入額	856	役員賞与引当金繰入額	33	退職給付費用	265	役員退職慰労引当金繰入額	0
運送費・倉敷料	17,846百万円																								
貸倒引当金繰入額	11																								
賞与引当金繰入額	900																								
役員賞与引当金繰入額	32																								
退職給付費用	229																								
役員退職慰労引当金繰入額	1																								
運送費・倉敷料	17,371百万円																								
貸倒引当金繰入額	11																								
賞与引当金繰入額	856																								
役員賞与引当金繰入額	33																								
退職給付費用	265																								
役員退職慰労引当金繰入額	0																								

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)																								
販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。																								
<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>8,293百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>463</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>0</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	8,293百万円	貸倒引当金繰入額	12	賞与引当金繰入額	463	役員賞与引当金繰入額	16	退職給付費用	159	役員退職慰労引当金繰入額	0	<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>7,974百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>0</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	7,974百万円	貸倒引当金繰入額	12	賞与引当金繰入額	424	役員賞与引当金繰入額	16	退職給付費用	189	役員退職慰労引当金繰入額	0
運送費・倉敷料	8,293百万円																								
貸倒引当金繰入額	12																								
賞与引当金繰入額	463																								
役員賞与引当金繰入額	16																								
退職給付費用	159																								
役員退職慰労引当金繰入額	0																								
運送費・倉敷料	7,974百万円																								
貸倒引当金繰入額	12																								
賞与引当金繰入額	424																								
役員賞与引当金繰入額	16																								
退職給付費用	189																								
役員退職慰労引当金繰入額	0																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)								
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年3月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年3月31日現在)								
<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>2,261百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定に含まれる譲渡性預金</td> <td>8,500</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	2,261百万円	有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	8,500	<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>11,179百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定に含まれる譲渡性預金</td> <td>6,500</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	11,179百万円	有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	6,500
現金及び預金勘定	2,261百万円								
有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	8,500								
現金及び預金勘定	11,179百万円								
有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	6,500								
現金及び現金同等物四半期末残高	10,761百万円								
現金及び現金同等物四半期末残高	17,679百万円								

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年3月31日)および当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,032千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 196千株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年12月18日 定時株主総会	普通株式	410	32	平成21年9月30日	平成21年12月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月11日 取締役会	普通株式	410	32	平成22年3月31日	平成22年6月7日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)および

当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益または営業損失の金額の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)および

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の金額の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)および

当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)および

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)および

当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)および

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)		前連結会計年度末 (平成21年9月30日)	
1株当たり純資産額	4,321.74円	1株当たり純資産額	4,223.76円

2. 1株当たり四半期純利益金額等または1株当たり四半期純損失金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	107.05円	1株当たり四半期純利益金額	127.98円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	107.01円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	127.98円

(注) 1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益	1,373	1,642
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,373	1,642
期中平均株式数(千株)	12,830	12,836
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	5	0
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額 34.99円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 33.99円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額または1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額 または四半期純損失金額		
四半期純利益 または四半期純損失()(百万円)	448	436
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 または四半期純損失()(百万円)	448	436
期中平均株式数(千株)	12,832	12,836

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成22年5月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(1) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・410百万円

(2) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・32円

(3) 支払請求の効力発生日および支払開始日・・・・・・・・平成22年6月7日

(注) 平成22年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年5月8日

伊藤忠食品株式会社
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中山 紀昭 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊藤忠食品株式会社の平成20年10月1日から平成21年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成21年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊藤忠食品株式会社及び連結子会社の平成21年3月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年5月7日

伊藤忠食品株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中山 紀昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊藤忠食品株式会社の平成21年10月1日から平成22年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成22年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊藤忠食品株式会社及び連結子会社の平成22年3月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。